

道元禪師『正法眼蔵・菩提薩埵四摂法』より ― 愛語の全文引用 ―

愛語といふは、衆生をみるにまづ慈愛の心をおこし、顧愛の言語をほどこすなり。

おほよそ暴悪の言語なきなり。

慈念衆生、猶如赤子のおもひをたくはへて言語するは愛語なり。

しるべし、愛語は愛心よりおこる、愛心は慈心を種子とせり。

愛語よく廻天のちからあることを学すべきなり。

たゞ能を賞するのみにあらず。

言語すでにみだらならば、かたちを正しくすとも、いよいよ禍をうくるなり。

世俗なほかくのごとし、いはんや出世の仏法においてをや。

― 『正法眼蔵』 卷第六十八「菩提薩埵四摂法」より ―